



日本の滝百選



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成9年4月1日現在)

総人口23,316人(△271)	出生 14人
男 10,838人(△158)	死亡 19人
女 12,478人(△113)	転入 231人
世帯数 8,622 (△71)	転出 497人

()内は前月との比較

題字 宇都宮町長

桜の命

——桜が満開だ。花のトンネルは、島津義弘の眠る精矛神社に続いている。春の香りに誘われ、一人感傷に浸って

歩いてみる。風情があつていい。時折、風にあおられ肩にハラハラ春のしずくが降りしきる。

わずか七日間の命を思いっきり謳歌する桜……。何故かしら哀れな気もするが、それが桜の桜たるゆえんで、その

尊さを実感できる。

——ふと、桜を見て人間の愚かさを痛感した。大自然の掟にことごとく背く人間。桜に宿命があるように、きつと人間にも宿命はある。しかし、悲しいかな、人間には桜のようないかな強い信念はない。



春の匂い春の風を運ぶ桜のトンネル

今月のページ

☆溝口宏二氏県議会議長に……	2頁
☆かじっガラス……	3頁
☆議会報告……	4頁
☆施政方針……	5～11頁
☆まちの話題……	12～14頁
☆リックのさくさく……	15～16頁
☆棕鳩十展……	17頁
☆お知らせ……	18頁

平成9年

4

月号

No.510

発行 加治木町・編集 総務課 ☎62-2111

県議会議長に 溝口宏二氏!! 「県政に新しい風を」



定例三月鹿児島県議会の最終本会議が三月二十八日開催され、加治木町出身の溝口宏二氏（六十一歳）が新議長に就任されました。プロフィール

溝口宏二氏は、一九七五年に県議會議員に初当選以来、六期連続当選され、その間、文教衛生委員長、土木委員長、監査委員などを経て、一九九三年から副議長を二期歴任。

町民の喜びはひとしおで、「加治木から県議会の議長が出るなんて、たいへん名誉なこと。溝口さんにはもつとがんばってもらわなくては」という声が多く、溝口氏に対する期待はますます募るばかり。就任あいさつで「……新しい風をおこしたい」と抱負を述べられたそうで、今後、議長としての活躍が大いに期待されます。おめでとうございます。

消費税の改正等により

公共料金が上がりました

ご協力をお願いします



龍門滝温泉でゆったりと

消費税の改正とともに、今回から新しく地方消費税が導入されたため、四月から消費税が5%（うち1%は地方消費税）になり、公共料金も2%相当が値上がりしましたので、よろしくお願いいたします。

なお、一部は変わらないものもあります。

※地方消費税とは県税で、うち約半分が市町村に地方消費税交付金として交付されます。

□主なもの

龍門滝温泉

一般浴室 大人 二五〇円

小人 一一〇円

家族風呂 七二〇円

乗合バス

大人 二二〇円

小人 一〇〇円

トレーニングセンター

一般 三三〇円

高校生 二二〇円

棕鳩十文学記念館（個人）

大人（高校生以上）三三〇円

小人（小・中学生）二二〇円

地縁団体の手続きはお済みですか

十八自治会が法人格を取得

地縁による団体として、上木田自治会が県下でトップを切つて法人格を取得したのは平成四年四月十六日。以来、町内では今年四月現在まで十八自治会が取得しています。

これは「権利能力なき団体」といわれていた自治会の財産を守るため、国が平成三年四月、地方自治法の一部を改正し、自治会を「地縁による団体」と位置づけることになりました。

これまで、自治会の資産、財産などは当時の会長名義で登記され、死亡や転居などで名義変更や相続問題に悩まされてきました。しかし、この法人格の取得により、自治会として登記が可能になり、トラブルなどの防止につながります。

自治会で資産、財産を抱えているところは、ぜひ「地縁による団体」となり登記されることをおすすめいたします。

★地縁団体（認可順）

上木田、西諏訪、東吉原、東諏訪、中福良後、市来原、吉原、中福良東、弥勒、南塩入、西塩入上、葛蒲谷、垂ノ口、楠園、新中、萩原、下新道、於里



常安寺で供養をして……



▼西南の役
から百二十年
が過ぎた今、
熊本県玉名市
下村に「加治
木隊」戦死者
の墓があると
いうことがわ
かり四月四日、
加治木町から
遺族七人を含
む慰霊団が当
地を訪れた。

▼調査にあたった玉名市立歴史博物館(田辺哲夫館長)によると、現地近くの常安寺の過去帳に「明治十年二月二十七日、下村の嶋津太郎作の畑に葬る。戦死者は薩州加治木一番隊より四番隊までの十九名」と記録されていた。また地元のお年寄りから、西南戦争の後、明治十一年に遺族たちが遺骨を引き取っていたが、一つだけ墓が残っ

西南の役百二十年

壮絶! 加治木隊十六人自決が判明

遺族七人ら現地で慰霊

ているということを聞き及び、さっそく調査した結果、嶋津家墓地に一つひっそり眠っていたということであった。墓には、(正面)「東楠園利助之墓 明治十二年三月十二日」(側面)「奉獻 鹿児島県加治木反土村 有村與助」と記されていた。(この嶋津家は鹿児島島の嶋津家とは関係ないらしい。)

さらに同館によると、明治十二年二月二十六日、薩軍の加治木隊と官軍が玉名郡菊水町で戦闘し、負傷した薩軍十九人が玉名市に取り残されており、「そのうち十六人が集団自決し、残り三人は離れた所で死亡していたのを埋葬したのではないか」と田辺館長。

▼宇都宮町長をはじめとする慰霊団一行は、玉名市立歴史博物館で説明を受けた後、常安寺を訪れて過去帳を確認し、お経をあげてもらい供養した。それから小雨模様の中、市街地を抜けて墓地に向かう。バスを下り

て民家の庭先を抜け、竹やぶに囲まれた嶋津家墓地に到着。地形的には山裾で、民家の屋根一つ分の高さである。大小の墓が乱立する中、その端に一つだけ背の低い墓を確認。間違いなく新聞や資料で見た墓である。きれいに掃除して、加治木からボリ容器で持参した水をあげ、線香を焚いて花を手向け、順番に手を合わせる。その前は十坪ほどの平坦地になっているが、ここが十六人の遺体が埋められていた所らしい。遺族らは感無量の様子で、その場所に立ちつくして静かに頭を垂れた。改めてそこにも線香を焚き、花を手向けた。東楠園利助のひ孫らしいということが判明した弓場照雄さん。そと目頭を押さえて「わたしの御先祖が、ここで死んだのかと思うと感無量です」と言葉少なに語尾を震わす。墓地の前方は竹やぶが切れ、田んぼが広がっていた。前方の山影は霧が深い。当時も乳色にかすんでいたのだろう。

▼明治十年一月三十日、私学校生徒が火薬庫を襲う。西南の役の始まりである。西郷隆盛が城山で自刃したのが九月二十四日、加治木隊十六人が散ったのが二月二十六日。戦いはようやく始まったばかりだった。この日の早朝、官軍が高瀬に集結すると聞き、山鹿に向かつて植木を出発した加治木の三小隊五百人が木葉を経て安楽寺に入った。午前八時、小倉第十四連隊が渡河して川部田に散開し薩軍の到着を待った。

薩軍は山裾沿いに行軍、その切れ目待って官軍が一斉射撃を放った。驚いた加治木隊は北進して菊水町の南端、白石の台地に拠って平地を進んでくる官軍を迎え撃ったが、午後、近衛兵の増援があったので、薩軍はあえなく撤退した。下村高城の台地上に避難した加治木隊の負傷者たちは、友軍の通過を待ったが、通りすぎるのはただ官軍のみだった……。

▼これが戦況である。おそら

く生還の望みなしとして、集団切腹したものに見える。西南の役に従軍した加治木隊はおよそ九百人で、死んだ人は百八十人ほど。そのほとんどの遺骨が遺族の元に戻ったが、東楠園利助の遺骨は果たしてどうだったのか。「おそらく、遺骨や遺品がなかったもので有村さんが墓を建てたのでは」と田辺館長。

▼無念の死と、絶え難かった望郷の念にさいなまれた東楠園利助の霊。しかし、百二十年ぶりにふると加治木の匂いに包まれ、その思いはきれいに晴れたに違いない。また墓参した遺族も、改めて御先祖の勇敢さを強く心に刻んだことだろう。



東楠園利助の墓前で
弓場照雄さん(右)

議会報告

〔第一回定例会〕

平成九年度一般会計予算 六十億三千六百万円

平成九年度第一回町議会定例会は三月七日から二十八日までの二十二日間の会期で開催され、八年度補正予算や新年度予算、消費税率の改正に伴う使用料や手数料の条例改正のほか、「教育委員会委員の任命について議会の同意を求める件」など二十七件の議案を審議、可決しました。

高齢者訪問給食サービス 週五日制で実施

スタートは九月ごろ

今議会で、懸案であった一人暮らしや寝たきりの高齢者の方々を対象にした高齢者訪問給食サービス事業委託料（約五百五十万円）が可決しました。

これは、福祉センターを改造して週五日制で弱者の高齢者宅に食事を提供するもので、これによって食生活の改善が図られ、健康保持や増進につながり、また宅配のときに安否の確認もできることになり、在宅福祉の充実が図られる

ことになります。

また、新事業として、加治木港岸壁拡張事業、永原・竜門小学校の大規模改修事業、小山田地区ふるさとづくり事業、椋鳩十文学にかかわる没後十年特別展・紀要の刊行・文学碑建立事業等、仮称・明神南線整備事業、排水施設整備事業として垂ノ口川の着工、広域営農団地農道整備事業（延長六・六km）などを実施します。

加音ホール

〈これまでの経過〉

みなさん お待ちしております

文化会館「加音ホール」は、昨年十月オープン以来、半年余り経過いたしました。

これまで、多くのイベントが行われましたが、その実績を一月末現在でお伝えします。

□大ホールと小ホールの稼働率

大ホール 67・4 %

小ホール 69・7 %

これは新しさもありますが、かなり高い稼働率を示しています。稼働率とは、使用可能日数を使用日数で割算したものです。

□利用数

大ホールや会議室等

10月 一四、一五三人

11月 一五、三二四人

12月 六、〇一八人

1月 一〇、三三二人

合計 四五、八一七人

一月当たり約二、〇〇〇人

□施設ごとの利用状況

十一施設のうち、視聴覚室、工作室、展示室は月によっては利用されませんが、他の施設はほとんど

ど利用されています。

□自主事業

オーブニング・イベントの日本室内管弦楽団、南こうせつほか五つの自主事業を実施。入場数 五、〇三〇人。収入目標に対する収入実績は94・3 %となっています。

□関連する事業

加音オーケストラの結成（75名の登録）、劇団「虹」の結成（26名の登録）のほか、ホールの運営や音響、照明等にたずさわっていただくアートボランティア（15名の登録）及びロータリークラブを中心とした加音フェスタを創設。

□平成九年度の自主事業

4月26日の戸川純の一人芝居を皮切りに、吉本オールスター、ベンチャーズ、ロシアフイルハーモニー交響楽団、劇団四季などの公演を計画。

こけら落としから



行政改革をにらみ

市町の合併を考える

施政方針

宇都宮町長は第一回町議会三月定例会で、平成九年度の八つの重点施策や「人、もの、技術の交流するまちづくり」「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」「安心して住める健康なまちづくり」「自然と調和する快適なまちづくり」「個性あふれる産業振興のまちづくり」「行財政の推進」の六つの大綱を織り込んだ施政方針を説明しました。

町総合振興計画

後期基本計画を策定

国は昨年十一月二十八日、総理直属の「行政改革会議」をスタートさせ、行財政改革の取り組みがいよいよ本格化してきました。

一方、地方自治体においては、改めて断固たる決意で行政改革に取り組みが必要があり、地方分権はいよいよ実現の段階に入ってきたといえます。市町村の行財政基盤を強化し、地方分権や地方行革を推進するため、市町村の合併は避けて通れない課題となってきました。現下の地方財政は、引き続き大幅な財源不足の状況にあり、

平成九年度の財政計画の策定に当たりましては、こうした極めて厳しい地方財政の現状を踏まえ、歳入面においては、地方税負担の公平・適正化の推進と地方交付税の所要額の確保を図り、歳出面においては、経費全般について徹底した節減・合理化を推進するなど、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し、財政の健全化及び住民福祉の向上に努められるよう、職員一丸となって「がんばる自治体」として、町民の皆様

の負託にお応えすべく全力を尽くしてまいります。

行財政の指針である加治木町総合振興計画は、平成八年度で前期基本計画が終了しましたので、平成九年度から十三年度までの後期基本計画を手造りによって策定しました。

この間、事業推進に当たっては議会をはじめ、審議会及び住民各位の御支援と御協力をいただきながら、その推進に積極的に取り組んできたところです。お蔭様で、数々の事業が完成及び着手の運びとなりました。当初計画に対し、ほぼ目標通りの成果（一〇四・六％）であったと自負しているところであります。



施政方針を述べる宇都宮町長

八つの重点施策を 積極的に展開

平成九年度の予算編成をするに当たり、行財政運営の自主的な努力を傾注いたすことを基本とし、重点施策として、八つの施策を設定いたしました。

その施策の第一は、港湾の整備であります。二つ目は、町内道路網及び都市下水路の整備、三つ目は、急速な高齢化・少子化の進展に対応すべく福祉・保健の充実、四つ目は、文化会館を拠点とする教育文化の充実、五つ目は、下水道事業の促進と環境衛生の充実、六つ目は、龍門滝を核とした宇曾ノ木川周辺の整備、七つ目は、農業及び商工業の振興、八つ目は、住民の声を町政に反映すべく、住民との対話でございます。

これら八つの重点施策は、いずれをとりましても必要な施策でございまして、総合的な判断をいたしまして、予算の編成に努力いたしました。

なお、平成八年度までに完成した事業は、文化会館・加音ホールの新設事業、都市計画街路として岩原西通線・海浜通線、町道として地すべり区間及び繰越分を除いた小山田線、柁城小学校の大規模改修事業です。

平成八年度からの継続を含め、平成九年度から別表のとおり新規事業に着手いたします。

それでは、これらの各般にわたる施策の大綱について概略説明いたします。

平成9年度の新規事業 (継続を含む)

- ①加治木港岸壁拡張事業
- ②永原・竜門小学校の大規模改修事業
- ③小山田地区ふるさとづくり事業
- ④椋鳩十文学にかかわる没後十年特別展、紀要の刊行、文学碑建立事業等
- ⑤仮称・明神南線整備事業
- ⑥排水施設整備事業として垂ノ口川の着工
- ⑦広域営農団地農道整備事業
(延長6.6 km)

人、もの、技術の 交流する まちづくり

▽マリントウンプロジェクト

第一步を踏み出す

▽県スポーツ中核施設を誘致

大綱の第一点「人、もの、技術の交流するまちづくり」

本町の総合振興計画の基本理念は、「新しいふるさとを創造する交流拠点 加治木」です。本県の中央、陸・海・空の機能を更に強化し、また人の交流を促進することにより、地域に開かれたまちづくりを推進して参ります。

その一つとして、本年一月号の広報かじきで発表しました「本町マリントウンプロジェクト」がその第一歩を踏み出すことになりました。

全国、各県から多くの港湾整備



加治木港の未来は明るい

の要望が出されていましたが、運輸省の御協力のもと、大蔵省査定でようやく昨年十二月末、加治木港に決定いたしました。平成九年度から調査設計が始まり、逐次整備が実施されることになりました。

同じく海上交通施策の第一歩を踏み出すため、私と佐多町長が発起人となり、鹿児島湾内四市九町で、鹿児島湾内海上バス就航期成同盟会を結成いたしました。

この海上バスを就航させるまでには、採算性の問題など乗り越えなければならぬ壁も多々ありますが、陸上交通の慢性的な交通渋

滞や幹線道路の整備の遅れなど、その解決を一挙に実現する大きな起爆剤となるものと考えております。

幸い、構成市町村においては港湾整備が進み、接岸の機能を持つていところもありますので、協議しながら目的達成にまい進して参ります。

次に、県スポーツ中核施設の誘致について申し上げます。

昨年の第一回町議会定例会でも申し上げましたが、現在でも正式な発表がありません。しかしながら、本件につきましては、誘致活動の手を県内でも一番目に挙げたこともございますので、今後も陳情、要望等が続けて参りますが、県の動向によりましては、取得している土地の用途変更も視野に入れて参らなければならないと考えております。

▽10号バイパスの建設促進

約半分を買収

▽外国青年誘致事業

次に、国道十号バイパスの建設促進についてですが、これまた機会あるごとに議会と一体となり、九州建設局や建設省に陳情を重ねて参りました。延長二・七キロメートルのうち、約二分の一程度が買収されました。情報によりますと、平成九年度は橋りょうの一部に着手し、用地買収も継続されますので、引き続き陳情活動を続けて参ります。

次に、外国青年招致事業です。事業を開始して三年目、交流員の努力もさることながら、住民の側からの接近も積極性がみえていきますので、これからの所期の目的を達成するよう努めて参ります。



国道は渋滞がひどい

豊かな教育と文化あふれるまちづくり

加音ホールを拠点に生涯学習の推進を！

大綱の第二点「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」

住民の長年の希望であった文化会館が平成八年三月完成、十月オープンしました。平成九年度の自主事業は、四月二十六日の戸川純の一人芝居を皮切りに、吉本オールスター、ベンチャーズ、ロシアフィルハーモニー交響楽団、劇団四季などです。

また、今日まで培われてきた本町の良き「伝統と文化」を継承しつつ、次代を担う心豊かでたくましい子供たちの育成を図り、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる教育環境の充実に努めます。

さらに、各種の生涯学習推進体

加音ホールのご利用を

制の整備充実に努め、町民が自発的に相互の交流を深める中から、ふれあいのある個性豊かな地域づくりに努めて参ります。

また、学校教育・家庭教育・社会教育・「ふるさと教育」、それぞれのさらなる充実を図るとともに、「自己の責任教育」にも力を入れて参ります。

次に、学校教育の充実についてです。教育環境の一層の整備充実に努めるとともに、教職員の資質の向上や児童・生徒の学力向上、生徒指導の充実に努力します。

また、社会問題となり、各小・中学校に発足した「いじめ防止対策協議会」の活用を図ります。特に、加治木中学校においては、スクールカウンセラー派遣事業の活用を図り、学校、家庭、地域社会が相互に連携して生徒指導に努めて参ります。

また、本年度は錦江小学校に教育用コンピュータを導入し、広く情報、理解、選択、創造、発信などの基礎的能力の育成を図って参ります。

学校施設整備については、本年度は永原小学校の管理棟、竜門小学校の特別教室を同時に実施し、更に校長住宅三戸を建て替え、学校施設の充実に努めて参ります。

「学ぶよろこび 生かすよろこび 助け合うよろこび」を育む

次に、社会教育です。

潤いと活力のある郷土をつくるため生涯学習の機構を整えるなど積極的に努めて参ります。

また、青少年の健全育成のために、異年齢集団による自然体験学習や社会参加活動を促進するとともに、個性豊かで心身共にたくましく思いやりのある青少年の育成に努めて参ります。さらに、地域における伝承行事や発表会、鑑賞会等の場を広げ、文化の香り高いまちづくりに努めて参ります。

また、本町の文化財は、次代に引き継ぐべき大切なものでありますので、今年度は「みろくがま」

の確認調査を実施いたします。

椋鳩十文学記念館では、椋鳩十没後十年特別展を七月から八月にかけて、十月には全国児童文学セミナー加治木を開催し、全国読書感想文コンクールも継続し、椋鳩十の研究を図るため研究紀要の発行を行うとともに、資料の収集・充実を図って参ります。

次に、社会体育です。いつでもどこでも気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組める場所として、今後とも、県のスポーツ中核施設の動向を見極めながら、社会体育施設の整備を図ってまいります。

余暇時間を有効にスポーツで健康管理

学校体育施設の活用は、施設の効率的な利用、ニュースポーツ等の情報提供及び指導者の育成に努めて参ります。健康者に対し、障害者のスポーツ活動も活発化してまいりますので、これまた指導者の育成や各種大会に参加できるよう援助してまいります。

次に、学校保健です。平成三年度から中学一年生を対象に血液検

査による小児成人病予防検診を実施し、その予防対策に努めてきています。また、AIDS予防対策と併せて、適正な性教育等の指導を進めてまいります。また、学校給食は、衛生管理面には万全の措置を講じ、学校体育は、体育施設及び遊具の安全点検と交通事故防止のため適切な指導を進めて参ります。

安心して住める 健康な まちづくり



健康は自分の手で……

▽九年度から老人宅配給食を ▽ふれあい交流の場を提供

大綱の第三点「安心して住める健康なまちづくり」

高齢者に最も人気のある既存の老人デイ・サービス事業については、平成八年度に建設された社会福祉法人の施設を利用し、多くの待機者の解消を図ります。また、老人宅配給食についても、ひとり暮らしや虚弱な高齢者等に週五日の食事を提供し、食生活の改善を通じて健康の保持や安否の確認など、在宅福祉の推進を図って参ります。

ます。

そのほか、在宅老人短期保護事業（ショートステイ）、各種の在宅高齢者福祉サービスの充実及び在宅介護支援センター運営事業、ホームヘルパー派遣事業等を主体に、ひとり暮らしのお年寄りや寝たきり老人、虚弱老人、身体障害者等の在宅福祉ニーズの充実や、障害者が社会のあらゆる部門に参加しうる環境整備の充実に努めて参ります。

また、介護ヘルパー派遣事業と並行し、巡回入浴車の活用とともに、福祉温泉バスを活用して龍門滝温泉までの送迎を行い、またデイ・サービスセンターに併設された地域交流センター及び福祉センターの一室を老人クラブのオアシスとして開放します。

また、子どもたちの健全育成及び資質の向上に資するため、公・私立合わせ七か所の保育所での保育、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、父子世帯児童養育手当、ひとり親家庭医療費助成事業、子どもショートステイ事業を行ってまいります。

母子保健サービスが県から委譲 在宅ケア支援システムを確立

次に保健衛生です。近年、少子化や核家族化、高齢化が進展する中で、子育ての希薄化、介護者不足や高齢化など様々な課題が生じています。

住民が健康な日常生活を送るため、乳幼児から高齢者に至るまで生涯を通じた健康づくりを展開すべく努力をいたしているところであります。

まず、母子保健対策です。平成九年度から地域保健法の施行により、妊産婦・乳幼児等に係る母子保健サービスが、県から町へ移譲

されて参ります。昨年策定いたしました「加治木町母子保健計画」に沿って、その施策を展開して参ります。

次に、予防接種事業です。今日まで、各種の感染症まん延防止に予防接種が果たしてきた役割は大きくありますので、引き続き個別接種・集団接種併用により事業を推進して参ります。

保健事業については、老人保健法に基づく健康教育・健康相談、基本健康診断、各種がん検診、訪問指導等、単独事業として腹部超

音波検診や骨粗鬆症検診も実施して参ります。

また、在宅介護支援サービスについては、在宅寝たきり老人に対する訪問口腔衛生指導、家庭での介護に対応するため家庭介護教室の開催、新たに在宅介護を保健・医療・福祉の分野から包括的に推進するための在宅ケア支援システムの確立の研究にも取り組んで参ります。そのほか、乳幼児医療助成、献血対策、精神衛生、結核予防対策等につきましても、引き続き推進を図って参ります。

西別府線の 歩道整備を

次に、交通安全対策です。

加治木町は交通網の要所にあるため、その交通量は日増しに増加の一途をたどっていますので、ガードレール、カーブミラー等の安全施設の整備を図ります。また、特に本年度は、竹下踏切の改修を含む西別府線の歩道整備のための実施設計及びJRとの設計協議を進めて参ります。

弱者世帯の 無料パッキン修理を

次に、水道事業です。

設備や既存施設の改良等に積極的に取り組みますとともに、水道に対する御要望や御期待になるべくお応えできるように、各般の施策を実施したいと考えております。

本年度は、引き続き独居老人・母子世帯のほかに高齢者世帯を加え、給水施設の点検やパッキンの取り替えや修理を無料で、一定の期間を設けて実施することとしております。また、小山田地区における配水池拡張工事に関連して、茶碗屋・毛上に消火栓を重点設置し、施設整備に努めて参ります。

自然と調和する 快適な まちづくり

明神東線と海浜通線を接続 延長二五〇メートル

大綱の第四点「自然と調和する快適なまちづくり」

主要幹線道路と調和する町内幹線道路網の整備及び改良補修、さらには住宅、防火、環境保全、公園緑地の各種施策の推進に努力して参ります。

本年度は、新設の道路として明神東線を南の方に延ばし、海浜通線と接続させます。延長およそ二五〇メートルで、道路の新設のための設計及び協議を実施して参ります。全般にわたっての道路の維持・管理につきましては、常に道路の状況を把握し、機能を發揮で

きるように的確な管理に努めて参ります。

道路の整備に当たりましては、用地の確保が第一義でございますので、地域の方々の深い御理解と御協力をいただきたいものだと考えております。

次に、街路事業です。岩原西通線、海浜通線が接続し、完成いたしましたので、今後は、木田振興

垂ノ口川を改修

し尿処理施設は建て直し

次に、環境衛生です。公共下水道終末処理場の用地確保の目的がつつつありますので、基本設計の策定をめざして参ります。

排水事業については、町内で一番雨水浸水の被害を受けた垂ノ口川の改修を実施します。現在約三畝の川を五畝のボックスに改修、多目的利用ができるよう設計しております。

次に生活排水対策は、合併処理浄化槽の整備事業を実施して参ります。廃棄物処理対策は、まず塵芥処理について、可燃・不燃ごみそれぞれ収集運搬業者や西部衛生処理組合と連携をとり、適正な処

地区の動向及び将来にわたっての新港の整備等を視野に入れ、計画を樹立して参ります。

次に、住宅です。公営住宅の維持・管理に努めるとともに、民間住宅建設の促進も進めます。

住宅の関連としまして、県営住宅の木造三階建、十八戸が本年度中に完成いたします。

また、勤労者を対象とする雇用促進住宅を小山田地区に建設すべく陳情いたしておりますが、本年度末には採否の通知があるものと考えております。

理に努めます。今後における廃棄物循環型社会への移行に伴い、ごみの減量化やリサイクル対策等の諸事業の推進を図って参ります。

し尿処理施設は、老朽化等により、平成九年度から三年の継続事業として近代的な施設にたてなおすこととなります。

新しく予定いたしている一般廃棄物最終処分場については、建設予定地の交通アクセスも整備されつつありますので、周辺の地域住民等に対する理解と協力を得られるよう、啓発普及を推進して参ります。次に、小規模水道は、生活用水の確保に努めて参ります。

町民の生活の 安定を図る

次に、消防・防災についてでございますが、町民の生命・財産を災害から守ることは、行政の大きな役割の一つでございます。

本年度は、道路の防災点検業務を実施し、今後の道路整備に反映させ、崖地等に近接する危険住宅移転事業を引き続き実施いたします。

災害防止上、消防団の任務も重要でありますことは言うまでもございませんが、機材・器具・消防栓等の整備を図る一方、団員の訓練を充実し、町民の生活の安定、生命、財産の保存に努めて参る所存でございます。



東西にまっすぐ伸びるきれいな道路



いつもはらんする垂ノ口川

個性あふれる 産業振興の まちづくり

農業構造並びに

農業経営体の育成・確保を

大綱の第五点「個性あふれる産業振興のまちづくり」

まず、農業です。農家においては、高齢化や担い手不足といった現実の問題がございます。

二十一世紀に向けて、農業がやり甲斐のある職業となるよう、認定農業者への経営指導や大規模農家の育成を図りながら、本町に適した農業構造並びに農業経営体の育成、確保に向けた取り組みを推進して参ります。

それぞれの地域における集落形成と水田等自然の生態系の保全や活力ある地域づくりを基本に、農産物を活用した特産品の開発と生産に着手します。

また、新農村振興運動の重点地区に指定を受けた小山田地区を中心に、話し合い活動を通じ、水稲や畜産や園芸及び果樹等の複合経営の振興や、新食糧法に示された市場原理の導入、生産者の主体的な取り組みを重視する同法の理念に沿って、米の生産調整をめざした新生産調整推進対策事業について、その趣旨の周知を図り、関係機関や団体と連携をとりながら推進して参ります。

さらに、農畜産物加工センターを視野に入れた畜産基盤再編総合整備事業計画策定事業の導入や、

地域畜産再編対策推進事業の継続により、畜産農家の経営安定に資するため、その相互協力と和牛生産技術向上をめざして、畜産の振興をめざして参ります。

次に、ほ場整備を中心とする農業生産基盤の整備でございます。

まず、町単土地改良事業では、小規模地域における農道、用排水路等について、地域と連携をとりながら事業を実施して参ります。

県単独農業・農村整備では、小山田・西別府地区の農道改良の整備を実施し、機械化営農に対応しうる維持管理に努めて参ります。

次に、団体営畑地帯農道網整備事業の推進は、小山田・市来原地区の農道網を舗装を中心として実施して参ります。

海岸保全施設整備事業は、引き続き木田振興地区の局部改良を実施いたしますが、今年度から高潮対策と事業名が変更しました。

県営ほ場整備事業では、地区内の暗渠排水工事を施工し、汎用化水田（乾田化し、裏作ができるように）となるように、また、辺川地区、西別府地区の換地処分（本登記をする）を実施します。

県営畑地帯農道網整備事業第二楠原地区は、引き続き舗装を中心

薩と空港を結ぶ広域営農団地農道整備事業として、本町六・六の整備に着手することになります。

次に、林業の振興です。本来、森林の持つ国土の保全、水資源のかん養、環境保全等の公益的な機能を最大限に活用するため、更に健全な森林の育成に資するため、山村の振興、林業の再建に資すべ

個性ある商店街づくり

自然とふれあう施設

次に水産業の振興です。

錦江湾を主な漁場とする外水面と、網掛川を中心とする内水面漁業は、どちらも観光振興にとつては大きな役割をもっていることか

く、治山治水事業、林道の開設事業を積極的に推進し、自然の保全に配慮しながら適齢樹林の除伐・間伐の推進や山林の環境整備に努めて参ります。

また、さえずりの森は、資源活用型林業構造改善事業の継続事業として、林間広場や給水施設の整備を実施いたします。

ら、資源確保のために魚介類等の放流事業を継続して参ります。

次に、商工業の振興です。初市や滝まつり、夏まつり、秋まつり等が拠点開催にならないよう、これらのイベントに便乗した商工業者の積極的な参画に期待し、町外商業圏への購買力流出の減少化につなげるよう連携をとりながら努力して参ります。

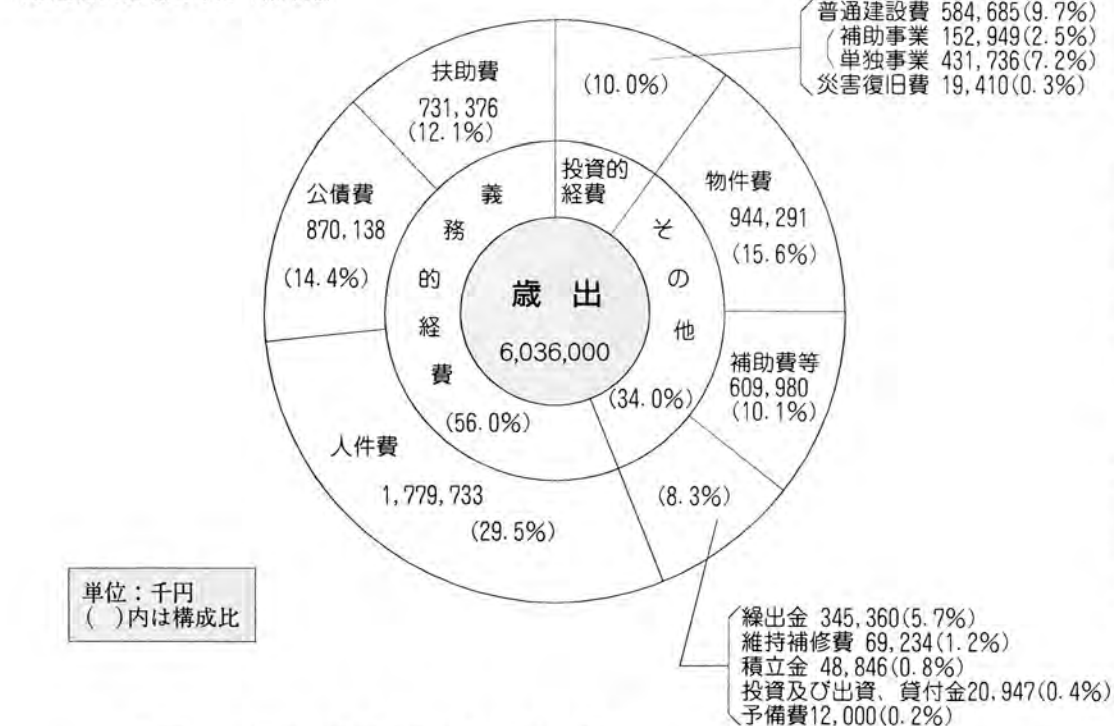
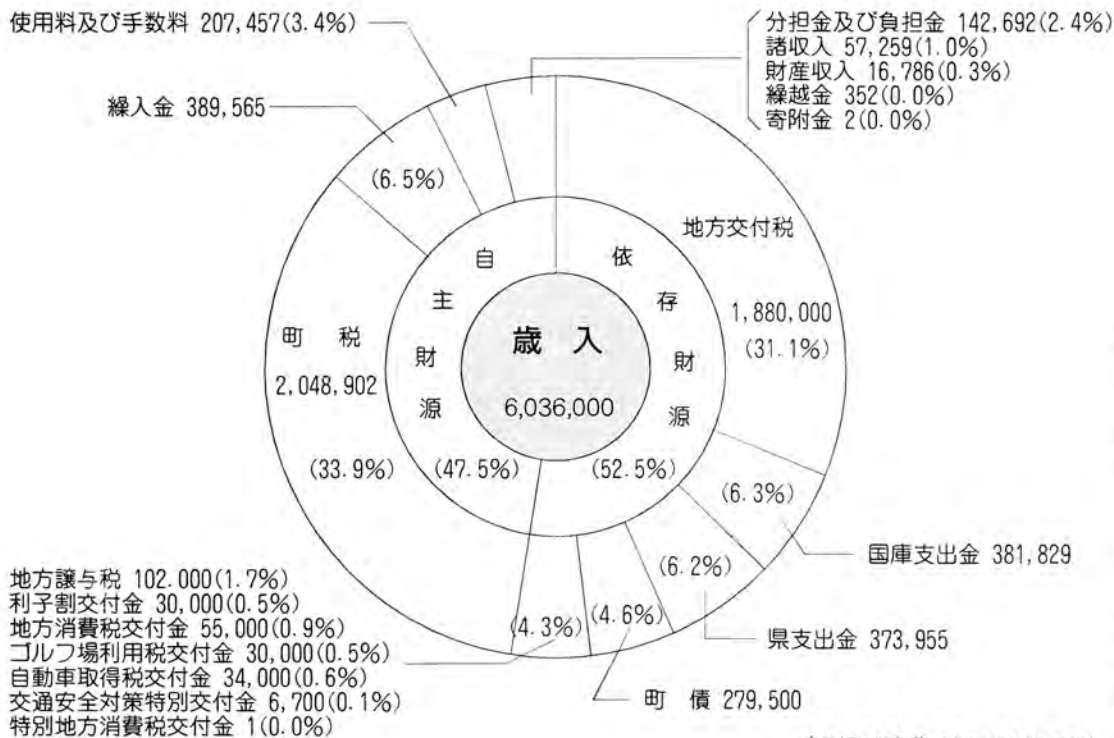
さらに、商工会を中心に県内でも類をみない商品券発行を継続しながら、町内買物運動、個性ある商店街づくり、通り会の組織強化等で集客力を持てるように努めて参ります。

次に、観光事業です。龍門滝と温泉とさえずりの森が町民の憩いと、自然とふれあう施設として定着できるように取り組んで参ります。



蒲生田通をにぎやかに

平成9年度一般会計当初予算の構成



単位：千円
()内は構成比

平成9年度当初予算の総額

会計名	予算額
一般会計	60億3,600万円
国民健康保険特別会計	15億5,535万8千円
簡易水道事業特別会計	6,069万円
地域下水処理事業特別会計	3,640万円
老人保健医療特別会計	26億478万9千円
農林業労働者災害共済事業特別会計	156万6千円

行財政

行政効果をあげる

大綱の第六点「行財政の推進」
限られた財源の中で、社会経済情勢の変化に的確に対応して、行政効果を上げることに取り組む

力して参ります。
自主的・主体的な地域づくりを確立するための所要の財源の確保と、事務事業の見直し及び長期的

展望に立って行政計画を策定し、計画行政を推進して参ります。
住民サービスの上から、電算機のレベルアップも完了いたしましたので、財務会計のシステム化など職員研修を重ね、併せて、職

員が多様なニーズに対応できるよう研修を進めて参ります。
平成九年度の一般会計予算は、六十億三千六百万円で、昨年度当初予算額に比較し、六・二%の減となっております。

ゆき届いた福祉サービスを

デイ・サービスセンター 二つ目が開設

高齢者福祉対策として町がすすめていた二つ目のデイ・サービスセンターが完成し四月七日、特別養護老人ホーム晶貴会で開所式が行われました。

施設は、元高井田保育園の敷地内に建てられ、一階が保育園、二階がデイ・サービスセンター、三階が入浴室という九州管内でも一番目か二番目というすぐれた機能を持つ複合施設で、下楠園助役は「地域に開かれた、高齢者にゆき届いた福祉サービスを提供してい

きたい」とあいさつしました。

また、二階に併設された地域交流センターは、福祉団体などに貸し出されることになっています。

デイ・サービスは、町が特別養護老人ホーム・望岳園（高田昌英理事長）に委託した最も人気のある事業。既存のデイ・サービスセンターは望岳園内にありますが、申し込み者が多く、遅い人は一年も待たされるほどで、既存の施設と新しい施設を交互に利用できるよう配慮することです。



3階建てのデイ・サービスセンター

春を楽しむ

第二回ウォークラリー

（敬称略）

第二回加治木町ウォークラリー大会が三月二十三日、天神公園を中心に開催されました。

春のポカポカ陽気を思わせる快晴のもと、六十人の参加者は、いろいろな遊びがあると聞いて胸をわくわくさせ、コマ地図をたよりに出発。駅では時刻表とにらめっこしながら、また日木山川ではフリスビー大会を楽しんだり、田んぼでは合唱やクイズ、ニュースポーツに挑戦しながら楽しい一日を過ごしました。

★入賞者は次のとおりです。

（一般・小学生の部）
一位：前田チーム（河原麻衣・前田祐治郎・田ノ上明菜）▽二位：てけてけチーム（乙田拓也・西尊世・西俣浩一・西俣豊子）▽三位：プロプロチーム（西祐平・西恵理菜・山口愛子・藤野亮太）
（ファミリーの部）

一位：木田ドラゴンチーム（川原英世ファミリー）▽二位：中間チーム（中間博英ファミリー）▽三位：ラッキーチーム（松下りつ子ファミリー）

認定農業者に認定証を

町構造政策推進大会

町構造政策推進大会が三月二十六日開催され、その席上、宇都宮町長から二人の認定農業者に認定証が授与されました。

この大会は、認定農業者を育成し、たくましい加治木町の農業を形成しようとするもので、この日は、ビデオで全体研修をした後、第一工業大学の石田尾博夫助教授による記念講演などが行われました。

（認定農業者・目標営農類型）
□橋口弘氏 酪農と肉用牛

現在、妻と二人で乳牛二十頭を飼育して牛乳を生産。機械化や新技術を導入して肉用牛の増頭をはかり、労働力の軽減や所得の向上を達成したい。

□緒方勝弘氏 酪農

農業後継者として、両親とともに従事。機械の導入、農地の集積をはかりながら、簿記記帳により経営状況の把握につとめるとともに、農作業の効率化と労働力の軽減につとめたい。



がんばってください

キャロットジュースが好評 花祭り

桜の名所、高岡公園入口にある農産加工センターで四月五日と六日（土・日）の二日間、第二回花祭りが開催されました。

両日とも、あいにくの天候でしたが、キャロット製品や取り立ての新鮮野菜を求めて長蛇の列ができた。開発中のキャロットジュースの無料試飲も「おいしいわ、人參は苦手だけど、これならいける」と好評。特設舞台では舞踊や五つ太鼓などが演じられ、最後の桜を見ようと町内外から訪れた花見客でにぎわっていました。



おおぜいの人々が・・・

後藤貴子さんら五人が入賞

県明るい選挙ポスター・習字コンクール

平成八年度県明るい選挙啓発ポスター・習字コンクールが開催され、町内から後藤貴子さんら五人が入賞しました。おめでとうございます。

受賞者（敬称略）
〔ポスターの部〕

- 特選 後藤貴子（永原小五年）
- 特選 後藤貴子（習字の部）
- 特選 竹原亜矢子（柁城小六年）
- 入選 田平隆介（柁城小三年）
- 入選 木佐貫知子（加治木小五年）
- 入選 浜崎麻央（加治木中二年）

竹原亜矢子さん

責任

柁城小 六年 竹原亜矢子

田平隆介さん

不在者投票

加治木中二年 浜崎麻央

浜崎麻央さん

自由

柁城小三年 田平隆介

木佐貫知子さん

生活

加治木小五年 木佐貫知子



後藤貴子さん



投げ込んだ成果が生きて



五百石船の模型

五百石船の模型を寄贈

松田繁美さん

松田繁美さんが四月九日、幕末の頃、加治木島津家の御用達船として働いていた五百石船の模型を町に寄贈されました。

これは、松宝丸という幕末に実存した帆船の模型で、長さ約一丈五十センチ、幅約三十センチ、マストの高さ約一丈。当時、ご先祖が回漕業（回船問屋）を営んでいた錦海漁協組合長の松田さんが、昔の写真

を元に複製したもので、作者は映画に出てくる戦艦大和などの模型を造った有名な人です。

幕末のころ、松宝丸、金兵衛丸などの五百石船が忙しげに何艘も

往来し、小松屋の下（現在のいち松あたり）の船着場に発着していたそう、現在の舌出しは明治十二年ごろに造られました。

積荷は穀物類、材木などで鹿児島や山川などへ運び、そこから千石船に積み替えて外海に乗り出したということです。

このころ、加治木に回船問屋は松田家のほかに、迫家、森永家、川崎家などがあつたようですが、輸送機関が車や汽車、飛行機などに取って代わられ、五百石船などの小船を操る回船問屋は次第に廃業に追い込まれていきました。

やったぜ準優勝！

柁城ソフト少年団



教育長に戦勝報告

第23回鹿児島県ちびっこソフトボール大会が三月上旬開催され、柁城ソフトボールスポーツ少年団（宮嶋實監督・団員二十四人）がみごと準優勝を飾りました。

柁城ソフトは、八試合を戦い抜き、決勝まで教試合を完封といったおまけ付きもありましたが、決勝戦では惜しくも三対一で無念の敗退。宮嶋監督や田原春育成会長は「小柄なチームでしたが、よくがんばってくれました」と手放しで喜んでいました。

ふれあいパーク誕生

眺めがいいです

空港へ上がる県道（城の坂）沿いに、おもちゃのお城みたいな可愛い「ふれあいパーク・かじき」が誕生しました。

これは、県の「ふれあいとゆとの道づくり」事業で、緊急災害防止のため山を切り崩して県道を新しくしたため、従来の道路を活用してドライバークの休憩所にしたものです。

ここからの眺めは最高で、雄々しい蔵王岳、紫匂う桜島、整然と

広がる加治木の町並みなどが、眠気におそわれたあなたをすっきりさせてくれます。夜景も鹿児島市に次いで素晴らしいです。

また、ここにはくも合戦など加治木名物の陶板も展示され、居ながらにして加治木を知ることができます。

ここを通過するドライバークのみなさん、事故を起こさないよう、目覚ましにちよつと一服してください。

魚さん住みよくなりましたよ

龍門滝下流に石積み

このほど、龍門滝温泉前の橋の下流に「ウナギやアユ、そのほかの魚などが住めるように」と、百八十六個にわたって石が積みまれました。

これは、県土木事務所が実施した県単河川等防災事業で、本来の目的は護岸の根固めと環境保全。「木工沈床工」という方式で川床に木枠を組んで石を敷きつめ、表面的には西側に石がたくさん突出しています。

県では、今後、魚の動向によっては、さらに東側やその下流に延ばす計画があるということです。



魚が住めるいい環境を

平成10年度歌会始のお題が「道」に決まりました

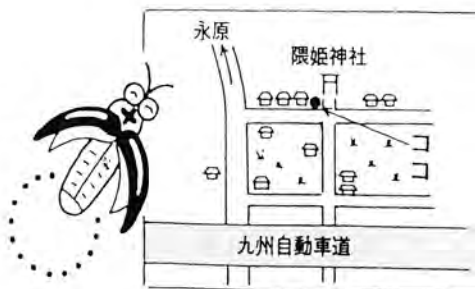
歌会始の詠進要領は加治木町役場総務課文書係にありますので、欲しい方はご連絡ください。



加治木の街並みも一望

ホテルをみる夕べ

とき 5月17日（土） 午後7時～
ところ 隈姫神社前ホテル川（上木田）



加治木町ホテルを育てる会
（鹿倉末雄会長 ☎63-1606）

交通事故の相談に

無料で応じます

社団法人日本損害保険協会鹿児島自動車保険請求相談センターでは、交通事故の相談に無料で応じています。交通事故でお悩みの方、お気軽にご相談ください。

記

◎受付時間

平日（月～金）の午前9時30分～午後4時40分

◎弁護士相談

毎週木曜日午後1時～（前日まで）に予約が必要です

※専門の相談員が親身になって相談に応じます。また、電話の



相談も受け付けています。
◎センターの所在地
鹿児島市中央町12-2
明治生命西鹿児島ビル5F
☎099-252-3466

リックのさくさく (咲く・作?)

お蔭様で3月の国際交流事業が大成功いたしました!!

皆様こんにちは。

「外人ではなく隣人」という考え方が国際化しなくてはいけないのではと、このごろ思うようになりました。先日、昼ご飯から役場へ帰る途中のこと。天ぷらそばで腹がいっぱいの私は自転車でゆっくりと走っていました。そこで私の大好きな色あせた木造の家が両側に立ち並んでいる「ワッ、日本って感じ」の小道から、いきなり園児二人が飛び出てきました。「かわいいい!」と口に出すのをためらっていた私に向かって、園児らしい大きな声であいさつをしてくれました。「外人だ! 外人だ!」と口を可愛く揃えました。素直だと思いながら、ニコニコして私もあいさつを返しました。「こんにちは」。まあ、子供たちは思っている事をそのまま何気なく言うものだし、「外人だ!」は「ほら、変なオジサン!」などよりずっと歓迎できるあいさつなのですが、ほかに何かもっといい呼び方があるのではと考え込みました。自分の気持ちから言えば、合計の在日期间はもう三年を超えようとしているところで、とても外の人という感じがしません。無論、多少ものの考えかたや価値観の違いが出てきたりしますが、同じ国の人間の間でもこういう「ずれ」はあるに違いありません。考えてみると、このように少し異なった生きかたをする人間が身近にいるからこそ人生の可能性が無限ということが考えられるのではないかと。従って、「外人」という言葉を使いますと、自分とその相手の間に距離をおくことにつながります。その結果、自分の人生の可能性が限られてしまうとも考えられないことはないと思います。

と長々と書いてきたものの、私の経験では「外人」と軽蔑的には言われたことがない上に、私も「外人」と使ってしまうこともあります。しかしその言葉の意味(言葉って意味をなくすと何が残る?)から考えれば、「外人だ!」の代わりに「隣人だ!」と呼ばれた方が「リチャードだ!」と呼ばれる次に好ましいと思っております。

さて、今日はリックの言いたい放題コーナーではありません。今月の記事は異文化理解や国際協力につながる国際フレンドシップ(親交)を目的とした事業の紹介、すなわち実績発表みたいなものにしたいと思います。

3月にたかばっちょ交流会が担当された「からいも交流」からの外国青年4名のホームステープログラムや、ロータリークラブが主催された(中国からの)帰国者の歓迎会など民間団体が企画・実施された真の国際交流プロジェクトのほかにも、本町主催の草の根国際交流イベントもありましたので紹介します。

スプリングスプリー

(事業名がカタカナばかりですね) 町内中学生に外国人と実際に自分の英語を使える機会を与えようと言う考えから、3月16日に教育委員会と共催した楽しい英会話のイベントでした。

On March 16 we held an English Conversation event jointly with the Board of Education. We asked local Junior High School students to come and try out the English that they learn at school. Including myself there were 5 Americans at the event. I was surprised at how willing the students were to use their English with people they had only just met. I hope next year we can include more time for free talking. Thanks to all the participants and good luck in your English classes!



単語のスプリングゲーム



自己紹介ゲーム

フレンドシップフォーラム

3月8日の土曜日、加音ホールで開催しました。町内高校生を対象とし、国際理解を深める目的としたイベントでしたが、参加してくれた県内からの外国青年5名の内の4名が英語圏のため（韓国の朴さんも英語がうまいですよ）、英語の勉強のためにも良い機会だったと思います。アメリカ風ピクニックが、高校生と外国青年が最も自然な形で交流できるのではと企画しました。

受け付けが済んだところ、日本人が21名と外国人が6名（私も入れて）。さっそく堅苦しさをなくするため、お互いの名前を覚えるゲームに入りました。さすが海外のことに興味を持っている高校生だと思いながら、皆さんが積極的に交わり合って、それぞれの国について考え込んできたところで、昼ご飯の準備に移りました。各班に外国人が入り、アメリカと日本のファストフードを一緒に作ることによって、気楽に役割の決めかた、少し違った意見のまとめかたなど、実際に経験ができたと思います。それぞれの人生体験がいくら自分と異なったり、言葉が違ったりしても同じグループで、共に同じ目標に目を向けることからその違いがだんだん頭から抜けていくのではとわかりました。

そして料理ができたなら皆で外の芝生に移り、恵まれた天気の中でお箸が動かないほど笑ったり雑談したりしました。せっかくの素晴らしい天気だったため、室内の交流会に戻る前にグランドゴルフに挑戦。帰りの際も記念撮影など、帰る様子もみせませんでした。

参加されたみなさん、この日に培った国境のない友情や国際交流に関して考え付いた事を忘れないで、実際に活かして欲しいと思います。



料理は私にまかせなさい



広く青い芝生で
アメリカ風ピクニック

第一回 春の国際交流キャンプ

反省点も多いものの、この2泊3日のキャンプは夢にも思わなかった程うまくいまして、参加者の積極的さや協力者の努力に深く感謝しております。3月28～30日のキャンプ場としてさえずりの森、会場は加音ホール、レクリエーションは役場の体育館を利用しました。振り返ってみると、このような一流の施設に、生き生きとした町内青年や県内留学生、ALT、CIRの合計40名が参加し、フリータイムや交流時間をたっぷり入れた計画は上手いかないはずはないと今思っているところです。このキャンプのなかで気付いたことを次回の記事にくわしく書こうと思っています。

皆様、今後ともよろしくお願いいたします。 ……Richard



楽しいふんいきです



イースターエッグペイント

棕鳩十

棕鳩十の生まれ故郷

青木村・特別展を終えて

去る二月十五日から四月六日まで、五十二日間にわたって開催された、棕鳩十の生まれ故郷青木村・特別展を終わるにあたって、いささか感想を述べてみたいと思います。

この企画展開催にあたっては、町民の皆さんには、チラシを配布し、お知らせ版で広報し、広報かじきで紹介申しあげましたので、ご承知のことと存じます。

この企画展のねらいについては、特に、広報かじき二月号にくわしく紹介したとおりであります。

なお、全国的な紹介としては、各都道府県の文化行政機関を通して情報を提供し、さらには、可能な限り、報道機関による紹介・PRにも努めてまいりました。

芳名録に記載された入館者数によりますと、今一段の入館者数の増がはしかつた。というのが、本音の感想です。

以下、しばらく、入館統計に基づいて述べることにします。

この数をどのように分析し、解

宮崎県	19
福岡県	16
東京都	10
神奈川県	9
熊本県	9
大阪府	8
兵庫県	9
埼玉県	5
北海道	5
鹿児島県	505

※入館数の多かった都道府県

鹿児島市	140
国分市	86
加治木町	70
伊集院町	46
川内市	38
枕崎市	33
始良町	26
隼人町	15
鹿屋市	14

※入館数の多かった県内市町村



山焼くや火のたてがみの駿馬馳く

川崎 黒兎

産み月に入りましたね春の雨

稲恒 寧夫

駅伝の群陽炎に吞まれけり

加藤 白柳

若草や寄ればコーラスの三姉妹

神村 洋子

春開の広場にロックの労働歌

園田 千秋

梅咲いて山野に彩の動き初む

岩田美知江

荒れ社出づれば水仙整列す

高木 正男

をらこちの梅に夜の明け過疎の村

白尾 澄子

蒲公英を路地に咲かせてラーメン屋

大童 利春

晴れわたる野に流感の影はなし

柳田 稔

身構えて茎立ち初むる酸葉あり

恒吉 斗南

さつま狂句

▼兼題「小火」 榊牛尾先生 選
天 小火騒つ 放漫れ所帯い 活つ入れつ (長重天玄)
地 小火騒動 後懐がすい 壁ん染ん (小濱礼香)
人 貫れ火事の 小火でん家財や 水浸し (市成早乙女)
唱 置も夜具も びしよびしよなつて

劇団「虹」の団員を募集しています

募集しています

民活劇団「虹」では、新規団員を募集しています。経験のない方も大歓迎です。興味のある方、劇をやってみたい方、ぜひご連絡ください。
一、対象者 小学校5年生以上で、規律を守って練習に参加できる人。町内外を問いません。
二、申し込み、問い合わせ先 性応寺 安満 ☎62-2054 または役場企画課 泉 ☎62-2111
※練習は性応寺で、週に一二回行っています。

役場職員の異動

4月1日付 ()は旧課

総務課参事・寺師秀孝(経済課)
▽町有施設管理係長・谷山浩(経済課林務係) ▽保健衛生課環境衛生係・永井京子(土木課管理係)
▽保健衛生課国民健康保険係・大内山節子(体育保健課体育保健係)
▽錦江幼稚園・田中香代子(加治木幼稚園) ▽福祉課福祉係・川田サチ子(加治木幼稚園) ▽加治木幼稚園・吉永花子(錦江幼稚園)
▽土木課管理係・楠元美千代(保健衛生課国民健康保険係) ▽税務課徴収係・藤崎謙二(保険衛生課)

環境衛生係 ▽企画課企画係・後藤博司(税務課課税第二係) ▽税務課課税第二係・徳永順良(税務課徴収係) ▽教委総務課庶務係・石原利奈(住民課窓口係) ▽加治木幼稚園・小野美樹子(教委総務課庶務係) ▽都市計画課計画係・大園哲也(新採用) ▽体育保健課体育保健係・原樹里(新採用) ▽住民課窓口係・福満尚子(新採用)

加音ホール催物予定 (4月10日現在)

(5月10日～6月10日)

6		5						月
7	6	28	25	17	15	11	10	日
土	金	水	日	土	木	日	土	曜
加治木ローターアクトクラ ブ20周年記念式典	鹿児島のはら会演奏会	人形劇「ジエニー」	岳星会加治木支部20周年大会 岳星会青少年育成詩吟大会 岳星会第三四回銀吟道大会	吉本お笑いショー 昼午後2時 夜午後6時半	若葉劇団 チビ玉三兄弟特別公演	日本舞踊 綾木流10周年発表会	舞台劇「風の子バザール」	催物
加治木ローターアクトクラブ ☎0995(63)2570	鹿児島のはら会 ☎0995(63)5716	始良西部子ども劇場 ☎0995(62)3761	日本詩吟学院岳星会 加治木支部 ☎0995(63)2588	加音ホール ☎0995(62)6200	ソワード ☎099(223)8005	綾木流始良支部 ☎0995(65)7449	始良西部子ども劇場 ☎0995(62)3761	主催(お問い合わせ先)

主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。(都合によ
りフィルムを変更する場合があります。)

②金色のクジラ

日時 5月25日(日) 10時～11時
映画 ①スパーロボ・サモデル
キン

(椋鳩十文学記念館自由の館)

親子映画鑑賞会



うぶ声



出生児	貴文	和文	中福良後
豊村 兼伍	悦子	吉原	
西濱 隆之介	良幸	井手向	
井上 幹太	達三	吉原	
荒木 生楽	隆	高井田	
大山 優紀	良一	上木田	
原田 和総	純一	札立	
寺師 はるか	幸一	西反土前	
森永 有希乃	浩一	垂ノ口	
鈴木 健太郎	秀蔵	今町	
保護者	自治会		

御寄付

社会福祉協議会へ

向井田 愛弓 希典 楠園	中峰 和輝 楨之 東諏訪	大重 美蘭 守 中福良後	立岡 未来 博志 原ノ門	猪俣 日向子 志郎 下新道	▽3月20日までに住民台帳に記載された方を掲載いたしました。
三万円	岩原西 池田三郎(妻 一子五)	二万円	端山 井上良博(母 ヒテハ)	五万円	布越 緒方フヂ(夫 柿男六)
五万円	東諏訪 吉留繁志(次男新一四)	十万円	小鳥 福元フミエ(夫友藏六)	二万円	萬蒲谷 鶴修(父直一九)
一万円	新富団地 橋口信美	一万円	中央 川口輝志(妻ハツ子四九)	五万円	豊町 泊ミエ子(夫 公男七)
五万円	東諏訪 西田スミ子(夫景男八)	一万円	天神 金城ミチ子(夫爲則七)	三万円	

東吉原 徳永 勲(母 シカ六)	三万円	高井田 福原松雄(妻フミ子七)	一万円	須崎 大坪エミ(夫 一雄六七)	十万円	小鳥 福元フミエ(夫友藏六)	三万円	東諏訪 吉留繁志(次男新一四)	一万円	老人クラブへ
東吉原 徳永 勲(母 シカ六)	三万円	高井田 福原松雄(妻フミ子七)	一万円	須崎 大坪エミ(夫 一雄六七)	十万円	小鳥 福元フミエ(夫友藏六)	三万円	東諏訪 吉留繁志(次男新一四)	一万円	老人クラブへ

始良郡5月眼科在宅医表

3	瀬戸山眼科医院	国分市中央一丁目 ☎45-0378
4	いぢち眼科	国分市府中 ☎47-3618
5	西眼科医院	加治木町本町 ☎62-2526
11	椎原眼科医院	国分市広瀬二丁目 ☎47-2906
18	田中眼科医院	始良町宮島町 ☎65-3986
25	中村眼科医院	国分市中央三丁目 ☎46-0146

1. 在宅医は往診はいたしません。
2. 在宅医の担当時間は午前9時から午後5時までです。
3. 原則として緊急を要しない一般の患者はご遠慮下さい。

5月在宅医表

3	ザ王病院	内科・胃腸科・循環器科 加治木町反土2151-1 ☎62-4611
4	大井病院	内科・外科 加治木町本町141 ☎63-2291
5	加治木温泉病院	内科 加治木町木田4714 ☎62-0001
11	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
18	加治木整形外科	整形外科・理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
25	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823

※診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

日曜・祝日 歯科救急診療 9時～15時
郡歯科医師会館口陸保健センター
(☎0995-58-4388・溝辺町空港近く)

特別寄付

岩原西 池田三郎(妻 一子五)
▽3月20日までのご寄付を掲載いたしました。(年齢は満年齢)